

# 関東龍門会報

〔〈旧制〉加治木中・加治木高女・加治木高校同窓会〕

発行人

会長 海江田 怜

発行先 関東龍門会 事務局

HP www.ryumonkai.com/

幹事長 前原 澄雄 (〒141-0031)

東京都品川区西五反田 5-16-2

〈メールアドレス〉

life-is-shadow@trad.ocn.ne.jp

## 《母校創立120年の年に巣立って》



盛大に開催された卒業式を終えてあつたという間だった高校生活の幕を閉じ、私たち69期生は今、それぞれの進路を歩き始めようとしています。そして、私も今春から慶應義塾大学に入学し、新たな人生のスタートラインに立つことになりました。18年間過ごし、慣れ親しんだ鹿兒島や家族の元を離れ、単身で上京することとは、私自身不安な気持ちもありますが、現在は、新鮮な環境での新たな出会いや発見に心躍らせています。

さて、私は昨年まで加治木高校ダンス部の主将を務め、その中でたくさんの方を学ぶことができました。しかし、私は部員の顔色を過度に伺い、その上で様々な決断をしてしまった結果、部活動を引退してから当時を振り返り、後悔してしまうことが何度もありました。これは、私が嫌われる勇氣を持てなかったことや、失敗を恐れすぎてしまったことが原因であったと思います。もちろん、主将という立場において部員全員を見渡すことが重要ではありますが、主将が遠慮している限り、部員

るに国内派遣事業(※編集部注・詳細は次ページ参照)に参加する中で、多くの先輩方に話を伺い、お仕事の現場を訪問し、多くの収穫を得ました。その中で印象に残っている言葉の一つに、「東京は何でもある」というものがあります。大学在学中の4年間で、鹿兒島では体験できなかったことに触れ、今後の自身の人間の核となる部分を作り出すことができることを確信しています。

そして、今夏も国内派遣事業が開催されるというのを伺いました。より近い立場から加治木高校在校生へ関東への進学を後押しし、加治木高校卒業生・在校生の絆をより強固なものにする一助となれば幸いです。

最後になりますが、今後開催される関東龍門会の活動に積極的に参加し、多岐に渡って活躍される人生の先輩の皆様と、加治木高校に関わることを楽しみたいと考えております。慣れない土地で、右も左もわからない私たちが、どうぞよろしくお願いたします。

また、昨年の夏、私は3人の友人と共に国内派遣事業(※編集部注・詳細は次ページ参照)に参加する中で、多くの先輩方に話を伺い、お仕事の現場を訪問し、多くの収穫を得ました。その中で印象に残っている言葉の一つに、「東京は何でもある」というものがあります。大学在学中の4年間で、鹿兒島では体験できなかったことに触れ、今後の自身の人間の核となる部分を作り出すことができることを確信しています。

そして、今夏も国内派遣事業が開催されるというのを伺いました。より近い立場から加治木高校在校生へ関東への進学を後押しし、加治木高校卒業生・在校生の絆をより強固なものにする一助となれば幸いです。

最後になりますが、今後開催される関東龍門会の活動に積極的に参加し、多岐に渡って活躍される人生の先輩の皆様と、加治木高校に関わることを楽しみたいと考えております。慣れない土地で、右も左もわからない私たちが、どうぞよろしくお願いたします。

◎<sup>かりや</sup>仮屋利彩さん (平成29年卒・69期)

母校創立120周年の記念号として、昨夏の国内派遣事業2016イベントにもご参加で、今春、志望校の慶應大学商学部への合格を見事に果たされた仮屋利彩さんにフレッシュな決意を語っていただきました。



昨夏の国内派遣事業参加メンバー4名  
左端が筆者の仮屋利彩さん

私たちも遠慮がちになつてしまつたという当たり前のことを忘れていたような気がします。大学生活においては、このような苦い経験を自

### 今年の総会(懇親会) 開催日は6月3日(土)！ 会場は今年も南国酒家・原宿店(迎賓館)です！！

平成29年度 関東龍門会 総会(懇親会) 開催ご案内

[日時] 平成29年6月3日(土) ・受付開始：12時10分～ ・総会：13時～ ・パーティ：14時～

[場所] 南国酒家・原宿店(迎賓館) (渋谷区神宮前6-35-3) TEL：03-3400-0031

[アクセス] ・JR原宿駅下車、表参道改札口から出て、駅前の表参道通りの交差点を渡った突き当りが南国酒家・原宿店の迎賓館入口です。(半円形の入り口が目印です。)

[アクセス] ・東京メトロ [千代田線・副都心線] 明治神宮前駅1番出口を出て、直ぐ右側が迎賓館入口です。(※詳細は同封の差し込みチラシの地図を参照してください)

[会費] 7,000円 (年会費は別途2,000円) 学生は無料 [懇親会費お支払いも同封の郵便払込票をご活用ください。]

★パーティは全て着席形式で、名店・南国酒家の旬食材を活かした美味しい中国料理を十分に堪能できます。

懐かしの味…芋焼酎(燗付けでご用意)や加治木饅頭、もちろん本場直送のツケアゲ等も用意しております。

『南国酒家・原宿店』のコース料理ペアお食事券、『郷土料理食事券』、菜種油等が当たる抽選会もあります。

(お願い)

案内状に同封した返信用ハガキで出席・欠席に関わらず、5月23日(火)までに、ご返信をくださるようお願いいたします。

なお、昭和35年卒(高12回生)のご出席者には『喜寿』お祝い記念品(龍門会オリジナル湯呑茶碗 [校章入り])を贈呈致します。お仲間お誘い合わせて是非ご出席ください。

当総会の連絡先、地図は同封の案内状・ピラをご参照ください。

☆<関東龍門会>は会員皆様の年会費で運営されております。年会費の納入に是非ともご協力を宜しくお願い申し上げます。☆

# NEWS ! & 加治木高校 TODAY



## 国内派遣事業2016レポート

関東龍門会 副幹事長  
西迫 宏文 (32期)

わが母校、鹿児島県立加治木高等学校は、本年創立120周年を迎えます。本稿は、創立120周年の本年からの『国内派遣事業』本格的実施に当たり、関東龍門会で昨夏に先行実施の独自提案企画を『国内派遣事業2016』としてご報告いたします。

### I、加治木高校にて面接選考

- ・選考面接日↓平成28年6月13日
- ・応募者9名から4名(男女各2名)選抜
- ・選考方法↓事前提出レポートと面接にて選考
- ・面接担当↓今村邦之さん(57期)・西迫
- ・面接同席者↓神田由美子同窓会副会長(19期)、原口和哉校長先生(29期)、宮田俊一教頭先生(37期)、同窓会ご担当の安藤毅史先生(41期)
- ・研修日程↓平成28年8月2日〜8月4日(オープンキャンパスを含み、2泊3日)
- ・派遣生徒4名(右掲写真の右側から)↓仮屋利彩さん、松平佳澄さん、吉村謙吾君、山口拓真君



### II、六本木ヒルズから西新宿へ!

羽田空港からモノレール、地下鉄を乗り継いで向かった先は六本木ヒルズ。淵邊善彦さん(35期)・現在、東京大学大

院教授・弁護士)がパートナー弁護士として勤務されているTMI総合法律事務所は、六本木ヒルズ森タワー23階にある。事務所見学の前に、まずは腹ごしらえて、向かった先は、51階の会員制レスト



後列左端が淵邊善彦さん、後列右端が今村邦之さん

ラン六本木ヒルズクラブ。生徒たちは皆、51階からの眺望に感嘆した様子である。そして、TMI総合法律事務所の見学。同事務所は弁護士だけで350名が勤務する大所帯。所内には、図書室や模擬法廷まで充実した設備が整っている。生徒たちの弁護士像は、刑事裁判の弁護士が強かったようだが、淵邊さんの説明によって、その業務の多様性を理解したようだ。

六本木ヒルズを出て、一路西新宿の株式会社UZZUへ向かう。この会社は、今村さんが代表取締役を務める第二新卒者に特化した職業紹介を主業としている。今村さんと同期の川畑翔太郎さん(57期)は、同社の専務取締役である。同社が重視している求職者に対するカウンセリングを、生徒は二組に分かれて実体験：今村さんから、相手の心を開かせるコミュニケーションの手解きを受け、これからの人付き合いの糧となったことである。

### III、先輩大学生と大学

この日は、東京大学オープンキャンパスを中心にして終日、7大学見学の分散行動。お茶の水女子大学で教授の新名謙二さん(32期)のご協力と、仲充哲さん(東京農工大3年・66期)と林拓真さん(東京工業大3年・66期)の呼び掛けで総勢6名の現役大学生(ご氏名は編集後記に別掲)がサポーターとして駆け付けてくれた。

☆見学の大学名↓東京大・お茶の水女子大・東京外国語大・慶應義塾大・青山学院大・東京工業大・一橋大

### IV、大学生と高校生の楽しい会食

それぞれの大学見学を終え、後楽園駅ビル

の中華飲(ファン)に集合。このお店のオーナーは、梅橋嘉博さん(24期)である。関東龍門会・海江田悦会長(17期)にもご足労をいただき、先輩お二人から生徒たちにお話していただいた。今回の『国内派遣事業2016』の企画に当たり、最も実現しなかったと言った過言でないのが、この会食の時間であった。同じ学び舎で過ごした先輩・後輩だけに、隣



生徒たちと食事会(左端が筆者)

### V、最終日も盛りだくさん

最終日は、最も時間に追われる日程である。16時30分の帰りの飛行機までに3か所の訪問先がある。

#### ■9時30分 農林水産省

枝元真徹さん(31期)は同省生産局長の要職に就いておられる。本来、10時以降からしか受け付けられない省内見学を、生徒の旅程にご配慮をいただき、また局長室で同省勤務の日高知保さん(49期)も交えて格別の懇談となった。

生徒たちは、所内見学でプレスルームに入り、本来は農林水産大臣の記者会見時にしか使用出来ない「農林水産省」のパネル前で写真撮影したり、前日の内閣改造に伴う新旧大臣交替のお馴染みの光景も見学でき、貴重な体験となった。

#### ■11時 TBS

慌ただしく、霞が関から赤坂のTBSへ向かった。今市憲一郎さん(36期)は同社報道局政治部長の職にある。TBS見学で特筆すべきは、11時30分からお昼のニュースのスタジオ生見学。なかなか、体験できないテレビ画面で観るニュース



中央が今市憲一郎さん

の現場でのスタッフの機敏な動き、直前までの綿密なチェックの様子など、制作サイドの苦勞・努力の大切さを感じたようだ。

最後の訪問先は、日本橋小舟町のノーベルファーマ株式会社で、難病・希少病向け医薬品メーカーである。代表取締役塩村仁さんの奥様の朱美さん(26期)が関東龍門会常任幹事であるご縁から、ご協力をいただいた。同社営業本部マーケティング部には大西淳一さん(30期)も勤務しておられる。

塩村社長自ら創業の動機、製薬メーカーの社会的責任など、限られた短い時間で自身の濃いお話をいただいた。「英語習得は必須。嫌も応もなし」、「自国の文化を知ろう」、「人には向き不向きがあるから、やりたいことをやろう」など、生徒たちの進学先選択、さらに将来の職業選択・人生設計の参考になる金言が多くあった。

### VI、紅燃ゆる 純潔の 血潮は沸り 遅しく

多くの皆様の情熱あるご協力のおかげで、『国内派遣事業2016』は、無事に2泊3日の旅程を終了した。創立120周年の今夏に予定されている12名の生徒の派遣も、きつと意義のあるものとなる信じて疑わない。始めた以上は、それが評価に値するものである以上は、続けていかなければならない。派遣対象となった生徒が、大学進学後に、あるいは社会人になってから、国内派遣事業のサポーターに携わり、自らが派遣された時の経験から多くの提案を出してくれる日が来ることを期待して止まない。創立120周年の記念事業『国内派遣事業』が、母校と同窓生、先輩と後輩を繋ぐ新たな伝統の一つに根付いてくれることが楽しみでならない。校歌2番に謳われる「逞しく沸る血潮」を心中にもってすれば、続いていかなければならない、よい変化を重ねていくに決まっている。

『国内派遣事業』に関する同窓生の皆様のご意見・ご提案をお待ちしております。末永く継続させていくことで、後輩たちのよき経験・刺激の創出となりますよう、何卒物心両面からのご支援をよろしくお願いいたします。以上

### 会長あいさつ



会長 龍門 かい かい 龍門 かい 龍門 かい 龍門 かい  
海江田 伶 (昭40年卒・高17期)

### 帰省の折には母校を訪問しましょう

早咲きの河津桜、大島桜等は早盛りを過ぎ、ソメイヨシノの開花が待たれる今日この頃ですが、同窓生の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

今年度はいよいよ母校の創立120周年になります。記念式典は11月11日に行われます。また、既に申し上げております通り、記念事業の一つの国内派遣事業には、昨年度、関東龍門会では、同窓会本部並びに母校と共同で、プレ実施という位置づけで、在学生4名を東京地区に呼んで、大学、企業等の案内をしました。結果は大成功で、参加者から非常に好評価をいただいております。今年度はさらに12名の受け入れを計画しております。今後も継続してまいりたいと思っておりますが、今のやり方では経費や時間的に無理があります。将来的には修学旅行に組み入れてもらうなどの工夫が必要かと思っております。

さて、私事ですが昨年は古希の同窓会で帰省しましたが、母校やその周辺が随分変わりました。特に龍門の滝周辺が散策するのに素晴らしいものになっております。皆さんも故郷にお帰りになる機会がございましたら、是非母校を訪問され、その周辺を散策してみてください。

最後になりましたが、今年も「南国酒家」で総会を開催します。会場に柱が多いなどの難点はありますが、そのほか料理サービス等は及第点かと思っております。会の進行にも工夫を凝らして楽しいものにして参りますので、是非、同期お誘いあわせの上ご参集下さい。



“あの人”を訪ねて  
高出身者で全国的に活躍しているコロンビア大学法学部教授の先生、加藤先生にお話を伺いました。

### 淵邊善彦さん (昭和58年卒・高35期)

〈略歴〉

・昭和39年5月広島県生まれ。父親の仕事の関係で隼人に移る。隼人中学を卒業して加治木高から東京大学へ。昭和62年法学部卒業後に2年間の司法修習を経て弁護士登録。そして、西村眞田(現 西村あさひ)法律事務所勤務。平成7年6月にロンドン大学UCL(LLM)卒業、ノートン・ロイズ法律事務所2年間の勤務(ロンドン・シンガポール)を経て帰国。平成10年7月より日商岩井株式会社(現 双日)法律部出向。その後、平成12年にTMI総合法律事務所パートナーとして参画。平成20年4月中央大学ビジネススクール客員講師(平成25年4月から同客員教授)を兼任し、平成28年4月東京大学大学院法学政治学研究所教授に就任。

### 「弁護士を目指したきっかけは」

高校時代は漠然と国家公務員になることを考えていました。大学に入ってから、法律という専門知識を使って組織にとらわれずに自由に仕事ができる弁護士になりたいと思うようになりました。弱い立場の人を助けたいという素朴な正義感もありました。が、実際に仕事を始めたらいよいよ現実的になり、やりがいのある企業法務を専門にすることにしました。

### 「海外留学・勤務中ほどのようなことを」

平成6年からロンドン大学に留学しイギリスやEUの法律を勉強しました。その後ロンドンとシンガポールの法律事務所勤務し、欧州やアジアにおける国際取引に関するアジア案件の対応に活かすことができています。

### 「総合商社で働いた経験の活用は」

平成10年から平成12年にかけては、ロンドン留学中に知り合った方との縁で日商岩井という総合商社(現在の双日)の法律部に出向して、企業法務の現場を経験しました。商社の中で国内外の多数の案件を取り扱ったことと、毎晩のように六本木や赤坂の街を飲み歩いたことが、社内外に広い人的ネットワークを作ることにつながりました。



### 「最近の弁護士としてはどのような活動を」

現在所属しているTMI総合法律事務所においては、M&Aや国際取引のほかに幅広い案件を扱っています。著書・論文は、M&Aやアライアンスの専門書から、一般向けの新書やベットの法律相談までいろいろあります。最近ではベンチャー企業の支援にも積極的に取り組んでいます。また、日弁連の「中小企業の海外展開業務の法的支援に関するワーキンググループ」の副座長として、中小企業が海外展開をするときに弁護士に相談しやすい仕組みの構築や、海

外案件を扱える弁護士の育成・教育に積極的に参画しております。これからも弁護士としての活動範囲は国内・海外ともどんどん広がっていくと思います。

### 「郷土・鹿児島との仕事のつながりは」

鹿児島との関連では、鹿児島銀行の顧問を務めており、先の肥後銀行との経営統合においては、鹿児島銀行を代理して東京、鹿児島、熊本を歩きまわりました。具体的には、経営統合に関する法的問題の調査、各種の届け出手続き、契約書の作成や交渉などを行いました。その他、九州の企業とはたくさん接点があり、福岡にはよく出張しています。

### 「大学教授としてはどのような活動を」

平成28年から東京大学のロースクールにおいて商法、法曹倫理など4科目を教えるとともに、ヘルスケアIoTコンソーシアムの理事や各種委員会の委員もしています。また、中央大学ビジネススクールの客員教授も兼任しており、ビジネスパーソンの学生に対してM&Aについて教えています。ビッグデータ、AI、IoTなど第4次産業革命は、社会を取り巻く環境の大きな変化につながり、今後法律実務も劇的に変わることが予想されます。実務家教員として、これまでの経験を活かし後輩の育成に尽力したいと思っています。

### 「最後に、在校生へのメッセージを」

これからグローバル化、技術革新、働き方改革などが一気に進み、皆さんが社会人になるころには世の中の仕組みが大きく変わっていると思います。ぜひ柔軟な感性と好奇心を持って社会に出る準備をしてもらいたいと思います。加治木高校で学んだ質実剛健の気風とそこで培った知力・体力はどんな時代になっても強みとなるはずですよ。

# 同窓生だより

昨年の総会時「返信ハガキ・通信欄」から転載。そのため時期に1年のずれがあります。ご了承ください。平成28年度総会出席者には速報版を配布しました。



◆ 来年は母校創立120周年、素晴らしいですね。それで思い出しました。今からちょうど10年前、それは母校、加治木高校創立110周年のめでたい年でした。このめでたい年に僕たちは加治木中学卒業以来60年ぶりに再会しお互いに元気な米寿を喜び合いました、大きな感動でした。米寿合同クラス会、東京組／鹿兒島組と、喜びが二重になり、その喜び感動もまた格別でした。平成19年3月21日、当日の写真には、高校本館正面に、加治木高校創立110周年が大きく表示されていました。

(中・昭13)吉満肇(横浜市)

◆ 近いクリニック、大きな病院に行くのみでございませぬ。朝の散歩は出来るだけ続けております。

(女・昭18)上村米(旧姓・園田)(世田谷区)

◆ 私は昭和21年8月に満洲奉天二中から加治木中学蒲生分校5学年に転入しました。山田上名(現始良市上名)から一里半の道を歩いて通学しました。僅か半年で卒業でした。当時本校は単人の兵舎に仮り住いで卒業式も兵舎の広場で行われた事などが懐かしく思い出されます。

(中・昭22)玉利昭一(横浜市)

◆ 86歳になりました。耳も遠くなり話もチンプンカンプン、体だけは至極元気です。祈盛会。

(中・昭22)矢野貞徳(春日部市)

◆ 平素はご無沙汰して申し訳ありません。71年前に韓国釜山村から引き揚げて来てから加治木中学単人分校へお世話になり立派な先生方や仲間と出会い、86歳迄元気で生きて来られた事に日々感謝しています。

(高・昭24)米倉勝則(草加市)

◆ 昨年10月、急遽思い立って娘同伴で鹿兒島へ帰って参りました。数年体調を崩していた私は、大分元気になったので、今しかない8年振りの帰郷でした。市内の米寿を迎えた姉と感激の再会。それから蒲生の実家に行き、義妹の手料理と内部のリフォームに又々感激。両家の墓参が出来、満足しました。宿泊の旧東急ホテルの眼前の桜島は噴火も無く感動しました。思わず旧制加治木高女の校歌を思い出し、声高に歌いました。

(高・昭25)大重幸子(旧姓・谷口)(松戸市)

◆ 旧友の面々が懐かしく思い出されます。東京オリンピックを目指してスポーツが盛んな事は喜ばしいです。

(高・昭25)鮫島貞真(横浜市)

◆ ありがたい事に、会社のお手伝いで84歳の今でも週3回働いている。通勤が運動になり、仕事がボケ防止。現役として、いつまで働けるか、これからも挑戦し続けたいと思っています。

(高・昭26)酒匂昭男(板橋区)

◆ 東京在住の3期生は、卒業以来「東京てんがらもん会」を結成、今も(平成28年4月現在)毎月30人が神楽坂に集い励まし合って活動しております。全員83歳乃至84歳になりました。昨年(平成27年)4月は、加治木の「七八(ナツパ)」に同期84人が集まりました。

(高・昭26)本田一(練馬区)

◆ 昨秋、10年振りに鹿兒島、加治木と旅をして同期の有名人、宇都宮明人(元加治木町長)、長野芳幸(前同窓会長)、池上俊(元加高長)をはじめ、6年間共に過ごした悪ガキ達と旧交を温める機会を得た。昔語りで当時の先生や友等は等しく組上に載せられてチンガララでした。

(高・昭27)木佐木卓郎(横浜市)

◆ 毎年、年会費納人が出来るように健康に十分留意して頑張つて参りたいと思っています。

(高・昭27)松屋勝己(佐倉市)

◆ 新会場の場所その他期待しています。我々27年卒4回生は毎月第三火曜日(三火会)に集まっています。歳とともに参加者が減っています。飲み酒も減ってきましたが、カラオケで歌う新曲は増えています。

(高・昭27)吉川悦郎(大田区)

◆ 今回の「現役生から見たあの頃」の記事、面白く読まして頂きました。私共高5期は、高校としての入学第1期生で、1年先輩の方達は4年間も下級生が居ない生活を送られた方達でした。新制中学から入学した私達にとって、何となく大人の雰囲気を持つておられ、文化の違いを入学当初感じたのを思い出してしまいました。毎年開いている同期会も次第に参加者が少なくなり、今後どうするか考えなければならぬところへ来ています。年は取りたくないものです。

(高・昭28)鶴田康(川崎市)

◆ 加齢に伴う足腰の衰えはあるものの、その他はたいした大病も無く、ここ佐倉の住み慣れた地にて朝夕を迎えています。

(高・昭28)山口稔(佐倉市)

◆ 元気で人生楽しんでます。

(高・昭29)永長隆房(文京区)

◆ ふるさとが遠くなったようで淋しいです。加治木に帰る機会が少なく、時に手紙で、電話で近況を知りほつとしています。80歳のハードルを越え、80路を歩む友人達へエールを送ります。健やかな日々を楽しく送りましょう!!

(高・昭29)殿村圭子(旧姓・田野崎)(世田谷区)

◆ 幹事の皆様の御蔭で龍門会が続いている事、誠に慶賀の至り御苦労様です。81歳の気配な日常は故郷半分、浦和に半分。生活は、故郷できま、浦和で荒川の漁協員、屋形船を庵にして稚鮎、夏は鰻と遊んでいます。お暇な人はどうぞ遊びに来て下さい。

(高・昭29)富田幸一(さいたま市)

◆ 相変らず、NBCR対策推進機構の仕事に従事しています。弊機構も12年目を迎えました。N核災害・B(生物災害)・C(化学災害)・R(放射能災害)に関する知識普及、危機管理体制の意識の高揚を図ると共にNBCR防護対策を推進するため、東京都や関係県・市と共催で危機管理フォーラムを行い、又NBCR災害対策担当者養成講習会等を行っています。皆様ご理解をお願い申し上げます。

(高・昭29)榎谷惟光(千葉市)

◆ 健康が許せば来年の加治木高校創立120周年に合わせ「勿忘草(わすれなぐさ)」第2号を上梓したいと考えています。母校記念事業の「生徒に贈る言葉」として拙詩「青春謳歌」を応募しました。入選如何は時の運だと思います。

(高・昭29)西山知弘(流山市)

◆ 平成27年7月25日、鹿兒島市小川町アーバンポルトホテルでの傘寿同窓会に出席した。卒業後初対面の友もあり、大そう有意義だった。物故者の中には、特に親交のあった伊福俊一、東潤、安藤敏郎、稲留千束の諸氏が入っている事に、人生の寂寥を覚えた。

(高・昭30)園田恒明(草加市)

◆ 詩吟同好会の先輩方に誘われて4年。月3回の集まりを新宿で楽しんでいます。声を出すことは健康にも良いと聞いています。先輩方と一緒に、私同様一から吟を始めてみませんか。ご連絡をお待ちしています。

(高・昭30)長谷場純一(横浜市)

◆ 近年になってようやく、日本の男性の平均寿命も80歳に達したようですが、私もいよいよ満80歳。傘寿を迎える年となり、あと何年生きるのかな、と平均余命を調べてみましたところ、男性では8年強(女性は11年強)というところのようです。些かうんざりしながらも、あと何をやればいいのかと、考える今日この頃です。

(高・昭31)大迫俊正(千葉市)



◆70歳台最後の年となりました。いよいよ人生の終活期を迎えるかと思うとよくここまで元気に過ごせたと感謝しています。同期の皆様いっしょに、21世紀を楽しみましょう。

(高・昭31) 杉田脩(鹿嶋市)

◆1998年1月60歳で定年。以来朗読ボランティアを続けて参りました。市の広報紙の録音(視覚障害者の方々向け)、放課後の学童クラブ、病院やデーケアサービス施設など多岐にわたります。その間も芝居やコンサートなど終活そっちのけで遊びにも精を出して来ました。さて、いつまで今のままやんちゃが出来ます事やら!!

(高・昭31) 藤井しげ子(旧姓:小出水)(春日部市)

◆昨年は腰部脊柱管狭窄症を発症し、歩行困難のため総会を欠席しましたが、今は階段の昇降は苦手でも平地は杖を突きながら歩けるようになりましたので出席します。有志だけの同好8期会も最後の会を来春東京で開催します。75名の有志に案内を送付した中、何名集まるかが楽しみです。

(高・昭31) 堀之内亨(町田市)

◆昨年は久しぶりにゴルフコンペに参加させて頂きありがとございました。城先輩を見習い体力の続く限り参加したいと思えます。目標はエイジシユート。

(高・昭32) 石野忠(東久留米市)

◆南国酒家の宮田順次社長(学習院大学法学部後輩)には、宜しく頼むと挨拶しておきました。また元気で経営コンサルティングを行っております。

(高・昭32) 市来研志(千葉市)

◆昨年の総会では喜寿を祝って頂き有難うございました。記念品に刻まれた校章を目にして、在校当時を思い出し、若さと元気を少し取り戻した様な気がします。

(高・昭32) 窪田幸男(小田原市)

◆昨年の総会では同期生の喜寿を祝って頂き、記念の湯呑まで賜りまして誠に有難うございました。

(高・昭32) 肥後陽二(横浜市)

◆妻に先立たれ一人暮らし12年目になりました。何とか自立した生活をしております。今年は久しぶりに海外に行つて来ようかと思つています。

(高・昭32) 南之園信正(守谷市)

◆高校3年当時、創立60周年でした。感慨深いものがあります。今年喜寿、同窓会には御無沙汰続きでしたので、これが最後と出席させて頂く事にしました。感謝を込めて...

(高・昭33) 大久保邦子(比企郡)

◆3月3日、自転車で転び全身を打つて一ヶ月以上動けなかったので出席を諦めていたのですが、竹中さんに会いたくて連絡もらつて出席する事にしました。

(高・昭33) 西常子(旧姓:仲宗根)(大和市)

◆北の地の者まで暖かいご配慮に深謝申し上げます。北海道には、現在、龍門会なる組織が実質ございません。当然活動もありません。残念ですが、皆さん殆んどが後期高齢者で、止むを得ない状態です。

(高・昭34) 飯田鐵雄(北海道千歳市)

◆抗がん剤の後遺症でパーキンソン病、高血圧等で体調不十分です。

(高・昭34) 出水克明(横浜市)

◆今年も同窓会の時期がやって参りました。諸先輩や同期、後輩の皆様方と会えるのを楽しみにしています。一年、一年と年を重ねて、今年は喜寿のお祝もして頂けるとの事。益々健康に気を付けて、毎年出席出来る様にならばいいと思います。

(高・昭34) 別府睦雄(川崎市)



◆目下、健康維持にウォーキングと筋力トレーニングに励んでいます。脳の活性化に首都圏のボランティアアガイド(外国人対象)と社会貢献として地域のボランティア活動に取り組んでいます。

(高・昭34) 松田勝(あきる野市)

◆家内(昭和36年13期、同級生、旧姓:鐘ヶ江弘子)ともども参加致します。本年4月結婚50周年となりました。

(高・昭36) 新村和規(船橋市)

◆去年の9月末から10月にかけて帰省しました。同窓生との出会い、友人との出会い、親戚との出会い、兄妹との出会いと色々の人との出会いがありました。幼少時から人との出会いを大切にしてきました。本当に私の宝です。人生の残高もあと少しですが、これからも宝さがしを続けたいと思います。

(高・昭36) 高橋ミチ子(旧姓:福永)(春日部市)

◆久しぶりに参加させて頂きます。楽しみにして居ります。

(高・昭36) 中島良一(足立区)

◆熊本の大地震、自然の驚異にただ愕然、早急に災害からの復興を心よりお祈りします。故郷への思いを募らせて安全を祈るのみです。会報いつも楽しく拝読いたしております。

(高・昭37) 石宇テルエ(旧姓:東)(さいたま市)

◆現在週3日勤務し、他に家庭菜園50坪で週3日野菜作り、その他、地域の同好会に参加したりと汗かき、益々元気にしています。来る2020年「東京オリンピック」まで後4年、その年に喜寿を迎えます。最低でもここは楽々クリアし、喜寿同窓会は笑顔で元気に皆様に再会できますように期しています。

(高・昭37) 藤島義行(旧姓:増田)(藤沢市)



◆久しぶりに出席させて頂きます。同期の方にお会い出来たら幸いです。

(高・昭37) 松田吟子(旧姓:岩沢)(八千代市)

◆知らない人が多いのですが、会場にいるだけで、あの頃が思い出されて心がなごみます。

(高・昭38) 川井由紀子(旧姓:塩屋)(ふじみ野市)

◆昨年定年退職の為、住み馴れた草加を離れ、親子付き合つて頂いた同級生及び関東龍門会の皆様方とお別れして、生まれ故郷の加治木に帰りました。

(高・昭39) 日高政光(始良市)

◆退職後に始めた地域の男声合唱団の定期演奏会と重なつてしまひ総会に出席出来ません。4月は神奈川男声合唱協会の演奏会を鎌倉芸術館で行いました。来年は座間ホール予定です。近くにお住まいの方は是非聴きにおいで下さい。

(高・昭40) 松下憲三(座間市)

◆ここ数年続けて参加しています。毎年お逢いするのを楽しみます。皆さんもつと参加しましょう。

(高・昭41) 小濱洋子(旧姓:永治)(市原市)

◆私が龍門会へ遅いデビューをしてからやっと数年経ちます。懐かしい同級生に逢つて少しでも取り戻そうと胸膨らんだのを覚えています。ところが最近、それまできつと参加され活躍されていたメンバーが、だんだん少なくなり姿が見られなくなつて来ています。卒業してから何十年、縁あつて同じ東京の空の下、年に一回は元気な姿、変わらぬ笑顔に会いたいです。まだまだこの先長い人生。気負わず、テゲテゲ気分が集まりませんか「我等、花の41年卒」です!

(高・昭41) 坂口義子(旧姓:白尾)(文京区)



◆南国酒家は出身地、湧水町の会合を例年やっているの、すごく良い所です。食事美味しいです。

(高・昭41) 比良田千利(横浜市)

◆ほぼ毎日畑で野菜作りに励んでいます。

(高・昭41) 藤井誠(厚木市)

◆月1回のゴルフ、週3回のジム通い、空いた日は図書館で司馬遼太郎の「街道をゆく」を乱読しながら日々過ごし、関東龍門会・始良ふるさと会の幹事の末席で、社会とのつながりに努めています。

(高・昭42) 國生幸一(川口市)

◆時折帰省していますが、その際には加治木図書館で加治木の郷土史を読み名所旧跡を訪ねるのを楽しみにしています。

(高・昭43) 永元幸雄(川越市)

◆昨年11月で勤め人の生活に区切りをつけ現在実家(加治木町)で米作りの勉強をしています。加高21期・昭和44年卒同期会、平成28年5月12、13日、15名参加「塩原温泉・ガストホフ夢木香」で開催しました。

(高・昭44) 岩井隆一(旧姓・福元)(文京区)



◆3月31日で定年退職し、4月から県立博物館で学習指導員として再スタートしました。

(高・昭49) 中村俊文(小田原市)

◆本年4月に定年となりました。引き続き働きますが、これからは同窓会などにはなるべく参加していきたいと思っております。還暦新人よろしくお願ひ致します。

(高・昭50) 中丸陽一(和光市)

◆昨秋、溝辺で一人暮らししていた母を連れて親族で紫尾温泉(本当に山奥)に一泊しました。露天風呂に母と二人で入り、ほっこりしました。私の弟、妹も加治木高校出身ですが、県内にこんなすてきな所があったと、初めて知りました。

(高・昭52) 赤津まゆみ(旧姓・諏訪)(所沢市)



◆3月で教職生活四十年終了し悠々自適ならぬ窮屈自適な生活が始まりました。剣道に専念しています。

(高・昭45) 佐藤光男(所沢市)

◆昭和46卒、高23期の全体同期会(65歳)は、平成29年4月29日(土) 鹿児島市の鹿児島東急REIホテル(旧東急イン)の予定です。還暦の同期会以来です。体調を整え、元気に参加します。

(高・昭46) 木佐木学(川崎市)

◆今年で62歳になります。まだ現役サラリーマンです。

(高・昭48) 大内山俊樹(野田市)

◆大学卒業以来、38年間勤務した生命保険会社を退職し、現在は子会社の不動産管理会社に勤務しています。

(高・昭48) 初瀬良治(さいたま市)

◆今年の7月で役所を定年退職し、8月末から第2の人生として税理士を開業する予定です。不安もありますが、龍門会に参加して勇気をもって頑張りたいと思っています。(初参加です)

(高・昭49) 徳永哲二(古河市)

◆子育ては一段落しましたが、親の介護が始まりました。自分の老後の事も考えないといけない年になったとつくづく思います。

(高・昭52) 木崎八重子(旧姓・笹平)(新宿区)

◆2016年5月に息子が結婚しました。横浜での結婚式に加治木の両親も出席しました。孫の結婚式に出られて喜んでいました。親孝行ができたかなと思っております。

(高・昭52) 多田香代子(旧姓・渋谷)(横浜市)

◆高1の時同じクラスだった原口さんが、校長先生になられ、今回主賓で出席下さると聞き、級友を誘い初めて出席させて頂きます。よろしくお願ひ致します。

(高・昭52) 太良木みどり(旧姓・赤塚)(町田市)

◆大阪に単身赴任していますが参加します。同期4人で参加予定です。

(高・昭52) 山崎幸一(柏市)

◆今年、めだかです。7尾いてどうも2尾オスだったようで、メスをめぐってけんかしていたのですが、目を離れたときに飛び出して1尾床に・・・。さよならでした。

(高・昭53) 宮原絹子(港区)

◆「定期健康診断」↓結果は「メタボ」です。ガーン！保健師との面談後、食事見直しとウォーキングによる「減量大作戦」開始。6ヶ月で12kg減量に成功し、各項目が基準値内となり、現在リバウンドしないように、食事に注意しウォーキングは続けている日々です。何事も「健康第一」でしょうか！

(高・昭54) 大岩根正浩(綾瀬市)

◆3月に久々に加治木高校を訪れました。クラス会の企画で校内を散策した後、お食事会に。購買部の場所が変わってない！教室はココだった！ などなどとても懐かしかったです。女子ラグビーが全国大会出場の幕もありました。後輩の活躍にエールを送ります。

(高・昭56) 市来さゆり(旧姓・茶園)(土浦市)

◆3月に京都から越してきました。諸先輩とお会いできるのを楽しみにしています。

(高・56) 米津浩幸(和光市)

◆今年度より東京大学法科大学院教授に就任し、弁護士と兼任しております。加治木の後輩の為に何かできればと思っております。

(高・58) 淵邊善彦(大田区)

◆2カ月に1回のペースで帰鹿しています。関東龍門会と本部のパイ役になればと思っております。

(高・63) 海江田健司(練馬区)

◆40代になってこちらにいる同期と会う機会が増えました。

(高・平3) 西原真仁(大田区)

◆同年卒の川畑翔太郎君と2012年に会社を設立致しました。郷土愛を胸に、本年7月に始良市山田の旧駐在所をリノベーションして研修施設を設置予定です。始良に一人でも多くの若者雇用を創出できるよう尽力致します。

(高・平17) 今村邦之(中野区)

◆同年卒の今村邦之と2012年から「株式会社UZUZ」を設立しました。今後は東京で培った採用ノウハウを鹿児島(始良)で活用したいです。

(高・平17) 川畑翔太郎(渋谷区)

◆ご了承ください  
この他に、「総会に出席できません」、「盛會を祈ります」、「幹事に感謝します」等のメッセージを多数いただきましたが紙面の都合上割愛させていただきました。

☆母校創立120周年に寄せての記念冊誌『黒川浜の朝ぼらけ』が刊行！

その昔、慶長5年(1600年)、関ヶ原の戦いで勇猛の名をさせた西軍の将、島津義弘公の城下町、加治木は、そして其の城址にあった中学校も昭和20年(1945年)終戦の日まで僅か4日前の8月11日に米軍機の猛爆で灰塵に帰し、戦前戦中の記録は全て焼失しました。あれから70有余年を経た現在、当時を知る人語る人も居なくなりつつあります。あの日、あの悲惨な現場の体験と、その前後の時代を歴史という糧の一端として次の世代に語り継ぎたく本書を作成した次第です。

【加治木高校・昭26年卒・高3期 世話人代表・烏丸新二さんの同窓生読者へのメッセージより抜粋しました。】

《右記の記念冊子をご購入希望の方へ》  
同封の年会費振込用紙に『黒川浜の朝ぼらけ』の冊子(一冊千円(送料込み))希望と明記して、年会費と合わせた合計金額をお振込みください。  
お振込み確認後、約2週間発送致します。

関東龍門会の事業について

平成29年度は下記の事業(活動)を計画しています。活動についてご提案、ご意見がありましたらTEL、メール、ホームページへの書き込み等でご連絡くださるようお願いいたします。

平成29年度事業計画

詩吟大会	3月23日(木)⇒(終了)
春季(囲碁大会)	5月18日(木)
春季(ゴルフコンペ)	5月19日(金)
総会・懇親会	6月3日(土)
秋季(ゴルフコンペ)	11月中旬予定
新年(囲碁大会)	H30年1月中旬予定

# 同好会 ニュース



**参加者大募集!**  
先輩も後輩も関係無く楽しめる会です。

## ゴルフ同好会

ビギナーもベテランも是非ご参加ください!!

\*今年の春季コンペは5月19日(金)開催!  
ゴルフ同好会では毎年春と秋の2回コンペを開催しております。80歳代から30歳代まで先輩、後輩の垣根を越えた楽しいコンペです。平日開催ですが、若手の参加をお待ちしております。



初参加の方もすぐに打ち解けることができます。今年が初めての方も是非ご参加下さい!!

「2017年度 春季コンペ」  
5月19日(金) 武蔵野ゴルフクラブにて。  
インコース 9時1分スタート。

ゴルフコンペ参加希望者は「総会案内はがき」返信欄に参加の意思をご記入下さい。幹事に直接連絡いたしても結構です。

〈幹事〉川井田信雄(高・昭45)  
〔TEL〕043-250-4478  
〔携帯〕090-1692-4785

2016年度 春季大会(6月17日)

参加者15名

- 優勝 田中敏三(高・昭45)
- 準優勝 斜木丈二(高・昭34)
- 3位 石野 忠(高・昭32)
- 4位 松元典郎(高・昭34)
- 5位 新村和規(高・昭36)
- ベストスコア 斜木丈二(スコア83)

2016年度 秋季大会(11月18日)

参加者11名

- 優勝 斜木丈二(高・昭34)
- 準優勝 石野 忠(高・昭32)
- 3位 川井田信雄(高・昭45)
- 4位 田中昌之(高・昭46)
- 5位 田中敏三(高・昭45)
- ベストスコア 田中敏三(スコア92)

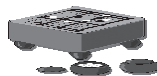
## 囲碁同好会

「健康を保ち碁を楽しみましょう!」  
昨年(平成28年)の春季大会は、三州倶楽部囲碁同好会から1名の方の特別参加を得て9名で行いました。

新年の大会は、昨年度は三州倶楽部囲碁同好会と共同開催としましたが、やはり龍門会の皆さんと楽しみたいのだという声が高く単独での開催となりました。今年も三州倶楽部囲碁同好会からも1名の特別参加があり10名の会となりました。

碁を楽しむことは健康にも良いですよ。新しい方も是非ご参加ください。

〈幹事〉海江田怜(高・昭40)  
〔TEL〕0467-86-4068



2017年春季 囲碁同好会  
5月18日(木) 三州倶楽部会議室にて。  
午前10時から午後15時まで。

各回の参加者は左記のとおりです。  
〈春季大会〉(2016年5月12日)

参加者9名(敬称略・50音順)  
今村 彬 (高・昭25)  
上原孝司 (高・昭29)  
大井澄佳 (中・昭21)  
海江田怜 (高・昭40)  
重森末徳 (高・昭28)  
玉利勝正 (高・昭26)  
長野忠雄 (高・昭30)  
中山晴雄 (高・昭29)  
森田雄太郎 (三州倶楽部)

〈新年大会〉(2017年1月26日)

参加者10名(敬称略・50音順)  
今村 彬 (高・昭25)  
上原孝司 (高・昭29)  
内田 修 (高・昭30)  
大井澄佳 (中・昭21)  
海江田怜 (高・昭40)  
城 正之 (高・昭26)  
立山 勲 (高・昭30)  
長野忠雄 (高・昭30)  
中山晴雄 (高・昭29)  
森田雄太郎 (三州倶楽部)

詩吟同好会  
本年は3月23日(木)に東京理科大・理窓倶楽部にて会員5名で開催  
〈幹事〉森田準之助(高・昭26)  
〔TEL〕042-946-3011

# 同期会報



このコーナーは卒年の同じ人のヨコの集まりのお知らせです。

- 加高11期(昭和34年卒)  
①平成28年4月19日(火) 関東地区、喜寿の同窓会開催。26名参加。
- ②平成29年3月14日(火) 東部同期会により、第11期喜寿同窓会開催。(於、ホテル・レクストン鹿兒島。 満田泰啓)
- 加高12期(昭和35年卒)「柅の木会」  
柅の木会第53回。平成28年12月3日(土) 18人参加。末永豊邦同窓会会長も参加。北王子新宿茶寮。
- 加高13期(昭和36年卒)  
10月に開催した同窓会(13回生)は、24名が参加お知らせしていますが、毎年10月の第3水曜日、新宿西口アルタ裏の「日本料理・三平6F」で開催。
- 加高16期(昭和39年卒) 加高39会  
①平成28年度関東39会を12月17日(土)に東京「街路樹」で開催。男子7名、女子1名の参加。
- ②平成29年は12月16日(土)「街路樹」にて開催予定。
- 加高30期(昭和53年卒)  
関東在住の方を中心に年一回定期的に同期会を開催しておりますので、是非ともご参加ください。  
☆連絡先…矢野義信 (090-8493-0885)
- 加高31期(昭和54年卒)  
○関東在住者だけでなく地元鹿兒島、他各地から同級生が集まり賑岡弘代表幹事の下、東京・神田で年2回(7月・11月)、楽しく同期会を開催しています。
- 平成28年度は、7月2日(土)(参加者:女性6名、男性19名)、11月26日(土)(参加者:女性10名、男性19名)に開催。
- 平成29年度は、7月1日(土)、11月25日(土)に、東京・神田にて開催予定。
- この会報を目にした同級生は、是非、連絡を下さい。お待ちしております。
- ☆連絡先…大岩根 正浩 (080-5055-1758)

■加中44期④(昭和20年4年生卒)  
旧制加治木中学校44回④生諸兄にお知らせ

①平成28年度同窓会誌「前編」が届いていない方は葉書で上衛へお知らせ下さい。②「後編」は4月中に送ります。③平成29年度からは葉書による「誌上同窓会誌」になります。④幹事・南川一郎氏が病氣療養中に急逝されました。(奥様よりご連絡あり) 諸兄と共に謹んで哀悼の意を捧げたいと思います。 幹事・飛松謙哉 文責・上衛悟

■加高3期(昭和26年卒)「てんがらもん会」  
有志の会毎月1回実施15:00  
1月12日(木) 2月以降はそれぞれ前回の時に日時決定。

・総会・12月2日(土)実施。すべて会場は東京理科大学会館PORTA神楽坂内。

・7月か8月飯島列島の旅を実施する予定。

酒匂 昭男

■加高7期(昭和30年卒)「東京さおう会」  
本年10月17日に第35回東京さおう会傘寿会として、原宿南国酒家にて開催、21名の参加がありました。本会はこの35回を最終回とし、以後は同窓有志による会のみとなる予定です。従って平成29年は未定です。(開催予定なし) 長谷場純一

■加高8期(昭和31年卒)

当31卒同好8期会は29年度80才をもって以後打ち切りとなりました。東京開催4月11日(火)45名(男性21名、女性24名)参加決定。都内K.R.R.宿泊、スカイツリー見学及び皇居研修の運びと決定済。実施後御身元へ報告いたします。 新村菊雄

■加高9期(昭和32年卒)

平成28年度の高卒9回生の関東地区同窓会は、10月22日日本橋で実施、16名の参加者があり、日本橋クルーズ等も希望数で実施。

・平成29年度関東地区同窓会は10月21日三州クラブで実施計画しています。近くの公園散策を含み、昼食会の予定です。

坂本 亨

〔関東龍門会〕(28年度) 事業報告

幹事長 前原澄雄(昭43年卒)

〔活動報告〕

①平成28年度総会(6月4日)に会員160名、来賓16名(内7名が卒業生、賛助会員1名の総数169名が参加して開催されました。議事として会計報告、翌年の母校創立記念事業サポーター案、年度事業計画等を討議しました。

②28年度は、常任幹事会3回、臨時役員会1回、学年幹事会3回、報編集委員会3回開催し、28年度の行事と会報発行を滞りなく遂行しました。

③会長の改革方針を具体化した4年目で、その成果の集大成とも言えるイベント「夏の関東龍門会」企画として、本部同窓会・高校サポーターに具体的提案として、会員の協力を戴き、成果を取りました。

④各同好会活動では、同好会を新年と春季に計2回、ゴルフ同好会を春秋で計2回開催して会員親睦を更に深めました。詩吟同好会は年度末の3月下旬の初代会での成果発表となりましたが、会員全員で毎週木曜日に練習歌謡会を重ねながら日々の精進を重ねております。

◆年会費納入のお願ひ
関東龍門会の運営は会員皆様方の会費と寄付で賄われており、それらは主として会報制作費と発送費用に充当されております。

◆ご寄付への御礼とお願ひ
毎年、会報および総会の席上で寄付金お申し出をお待ちしておりますが、今年も延べ151人の方に「賛同頂き、62万9千160円もの篤志を頂きました。」と厚く御礼申し上げます。

◆関東龍門会への入会促進と
総会・懇親会へのご参加お願ひ
関東龍門会の存在をご存知ない方やこの会報が届かない方がおられますら、ご遠慮なく事務局へご連絡ください。

◆お問い合わせ
お誘い合わせの上、多数が参加されるようお願いいたします。
なほ、同好生や知人・ご親戚の同窓生と当会未登録の方にも、お声掛けをお願い致します。

〔平成27年度 会計報告〕

(会計幹事) 前原澄雄(昭和43年卒・20期)

関東龍門会平成27年度(自平成27年4月1日～平成28年3月31日)の収支実績は下表の通りです。

Table with 4 columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenditure), 科目 (Category), 決算 (Actual), 予算 (Budget). Rows include items like 前年度繰越金, 総会費, 印刷関係費, etc.

(注) 当会報による報告は、決算日の関係上、平成27年度の会計報告です。

28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の会計報告は、29年度総会(平成29年6月3日開催)に於ける承認を経て、当会報30年度号(第43号)において報告します。

- 備考
(※1) 28年度総会は28年6月4日に開催。会員160名、来賓16名(内、卒業生7名)、賛助会員1名の合計169名が参加。上記報告は当総会において承認されたものです。
(※2) 年度会費は振込手数料差引き後です。(27年度年会費納入者 355名)
(※3) 寄付金 121口(寄付者氏名は当会報28年度号(第41号)に掲載済み)
(※4) 印刷費は、会報、総会案内状、往復ハガキ、送付用封筒、振込用紙等の費用です。

28年度寄付者ご氏名(敬称略)

- (13年卒) 吉満肇 (20年卒) 三段隆 野元保輝 (21年卒) 北野菊夫 野野中一郎 (22年卒) 玉利昭一 矢野貞徳 (23年卒) 市来秀夫 (25年卒) 今村彬 森山耕二 (26年卒) 今吉孝夫 上村逸夫 加治木正紀 酒匂昭男 城正之 徳田誠一郎 永長隆徳 本田一 古川耕一 (27年卒) 西上健司 窪田正視 松屋勝己 吉川悦郎 (28年卒) 井村美樹子 鶴田康 (29年卒) 榊山亨 殿村圭子 永長隆房 西山知弘 (30年卒) 内田修 立山殿 長谷場純一 (31年卒) 新村菊雄 杉田脩 藤井しげ子 (32年卒) 秋山淳子 石野忠 市来研志 窪田幸男 肥後陽二 細川時平 南之國信正 (33年卒) 大久保邦子 西常子 安田照雄 (34年卒) 朝倉正昭 今村博 上西康生 小久保紀光 斜木丈二 別府睦雄 松田勝 松元典博 行村紀男 (35年卒) 稲留節徳 重信龍男 鶴田親治郎 中村桃子 中山憲一郎 本田勝 松金瑛子 (36年卒) 今村嘉友 高橋ミチ子 中島良一 松田士郎 山崎巖 (37年卒) 石字テルエ 桑原昌子 土屋紘子 常盤毅 藤島義行 米増洋昭 (38年卒) 関田平 (39年卒) 相羽孝師 安楽弘美 内村覚峰(勝) 柿元邦彦 河野正美 城憲夫 徳永正幸 (40年卒) 海江田脩 垣内忍 黒川幸治 西郷宏 萩原町子 福重利夫 藤井誠 (42年卒) 有馬純一郎 鎌田信 國生幸一 藤井豊幸 (43年卒) 安楽千代子 大久保令子 重村博文 竹田茂隆 米田幸雄 橋浦敏子 宝蔵隆雄 前原澄雄 齋山信 (44年卒) 岩井隆一 (45年卒) 川井田信雄 御堂幸子 (46年卒) 木佐木学 茶木美代子 前田亮 村井紀子 若林京子 (47年卒) 小松節子 佐々木真理子 (48年卒) 井下修 酒匂馨一 (49年卒) 最勝寺久尚 堀村朱美 堀之北かすみ 本間万里子 松野下淳子 (51年卒) 佐藤(誠)まゆみ 草野幸一 西川[湯田]みよこ (54年卒) 大岩根正浩 (55年卒) 西迫宏文 (57年卒) 大塚知彦 (58年卒) 淵邊善彦 (59年卒) 今市憲一郎 桑元真二 (60年卒) 大槻瑞代 (61年卒) 久保裕 (63年卒) 海江田健司 (H3年卒) 西原貞仁 ・(母校教育振興会) 同窓会本部 ・(始良市) ・(加治木工業高校・関東支部) ・(株)UZUZ ・(ノールファーム)(株)

〔関東龍門会〕平成28年度 役員

(平成29年3月31日現在) ※ ( ) 内は卒年

- 〈顧問〉 今村彬(昭25) 酒匂昭男(昭26) 永長隆徳(昭26) 長谷場純一(昭30) 杉田脩(昭31) 朝倉正昭(昭34) 満田泰啓(昭34) 本田勝(昭35) 中山憲一郎(昭35)
〈参与〉 行村紀男(昭34) 鶴田親治郎(昭35) 松金[宝蔵]瑛子(昭35)

- 〈会長〉 海江田脩(昭40)
〈副会長〉 藤島[増田]義行(昭37) 北野正英(昭40) 藤崎[徳田]マリ子(昭40) 山下憲男(昭41)
〈幹事長〉 前原澄雄(昭43)
〈副幹事長〉 重村博文(会計担当兼任)(昭43) 川井田信雄(昭45) 西迫宏文(昭55)
〈事務局長〉 木佐木学(昭46)
〈監事〉 徳永正幸(昭39) 相羽孝師(昭39)
〈常任幹事〉 北原源平(昭41) 國生幸一(昭42) 中村信二(昭45) 中園悦朗(昭46) 若林[高山]凉子(昭46) 上加世田策(昭47) 井下修(昭48) 塩村[久永]朱美(昭49) 松野下[田村]淳子(昭49) 佐藤[境田]安子(昭51) 満留友和(昭53) 枝元真徹(昭54) 大岩根正浩(昭54) 中野広行(昭58) 淵邊善彦(昭58) 今市憲一郎(昭59) 桑元真二(昭59) 久保裕(昭61) 安井[福留]はるみ(昭62) 海江田健司(昭63) 今村邦之(平17)

〈学年幹事〉(各期)各学年・卒業期毎に数名(掲載省略)

※各事業担当責任者

- ☆〈会報編集委員会〉 前原澄雄(補佐) 久保裕
☆〈同好会〉 海江田脩(補佐) 重村博文
☆〈ゴルフ同好会〉 川井田信雄(補佐) 福村正美(昭53)
☆〈詩吟同好会〉 永長隆徳(幹事) 森田準之助(昭26)
☆〈HP担当責任者〉 前原澄雄(補佐) 山下憲男



28年6月4日総会出席者【敬称略、名字後ろの〔 〕は旧姓】

- (25年卒) 今村彬 (26年卒) 池ノ上昭義 大迫末司 加治木正紀 柏木主計 上村逸夫 川口菜三 酒匂昭男 城正之 徳田誠一郎 永長隆徳 古江孝生 本田一 (27年卒) 木佐木卓郎 松田浩太郎 松屋勝己 吉川悦郎 宮内毅 (29年卒) 上原孝司 榎谷惟光 永長隆房 西山知弘 (30年卒) 長谷場純一 (31年卒) 大迫俊正 新村菊雄 杉田脩 藤井[小出水]いづ子 堀之内亨 山下宗春 (32年卒) 石野忠 市来研志 窪田幸男 (33年卒) 西[仲曾根]常子 竹中[中原]規矩子 黒木勇 榎谷[岡元]玲子 大久保邦子 (34年卒) 朝倉正昭 今村博 内野徳誠 古賀千成 白濱孝一 長野親毅 斜木丈二 別府睦雄 松田勝 松元典博 満田泰啓 行村紀男 (35年卒) 今村寛 鶴田親治郎 中山憲一郎 法元隆男 本田勝 松金[宝蔵]瑛子 渡辺[宮田]恵子 (36年卒) 今村嘉友 坂口[岡元]洋子 新村和規 新村[鐘ヶ江]弘子 末永依久子[恵子] 高橋[福永]ミチ子 中島良一 古本[大橋]百合子 松田士郎 (37年卒) 加治木典康 桑原[昌子]土屋[東]紘子 長谷川圭一 藤井賢太郎 藤島[増田]義行 松田[岩澤]吟子 米増[倉]洋昭 (38年卒) 川井[塩屋]由紀子 (39年卒) 相羽孝師 内村覚峰[勝] 上村健二 近藤幸一 河野正美 城憲夫 立山優子 徳永正幸 永重郁雄 妻鹿彬 (40年卒) 海江田脩 垣内忍 北野正英 高橋光弘 藤崎[徳田]マリ子 山下[江川]マリ子 (41年卒) 小濱[永治]洋子 北原源平 西郷[伊山]宏 坂口[白尾]義子 鮫島[山下]信子 藤井誠 藤崎博一 比良田千利 三浦[山田]佳代子 安田[岩井]文二 山下憲男 (42年卒) 國生幸一 (43年卒) 市来敏和 重村博文 竹田茂隆 中村[福田]万里子 橋浦[松田]敏子 前原澄雄 矢野[古木]雅子 (45年卒) 川井田信雄 中村信二 古江弘 (46年卒) 木佐木学 田中昌之 西村和宏 藤本[三浦]ユミ子 前田亮 吉永幸浩 若林[高山]凉子 (47年卒) 梅崎嘉博 (48年卒) 井下修 (49年卒) 最勝寺久尚 塩村[久永]朱美 田原孝志 徳富久也 徳永哲二 福島[新名]恵子 堀之北[前原]かすみ 本間[笹峰]万里子 松野下[田村]淳子 山崎[柚木]純江 (51年卒) 佐藤[境田]安子 (52年卒) 赤津[諏訪]まゆみ 草野幸一 西川[湯田]みよこ 太良木[赤塚]みどり 野村[鮫島]由美子 山崎幸一 (53年卒) 宮原絹子 (54年卒) 枝元真徹 大岩根正浩 (55年卒) 西迫宏文 (56年卒) 米津浩幸 (58年卒) 棚木原浩二 中野広行 淵邊善彦 (59年卒) 今市憲一郎 (61年卒) 久保裕 (63年卒) 海江田健司 (平成17年卒) 今村邦之 (平成26年卒) 仲充哲 林拓真 (平成27年卒) 鬼丸貴

- 【来賓】(同窓会会長) 末永豊邦(35年卒) (加高校長) 原口和哉(52年卒) (始良市) 総務部長・脇田満徳(昭和50年卒) 水道事業部長・竹下宏 (近畿龍門会) 顧問・重森英樹(昭和36年卒) (本道同窓会) 副会長・鎌田一典(昭和46年卒) (廣島・東京事務所) ふるさと交流課長・春園新吾 (加治木工業高校同窓会・関東支部) 支部長・柏木光雄 幹事長・亀澤宜秀 事務局長・川辺日出海 (白金造船株) 代表取締役社長・竹ノ内品子 営業課長・西郷大輔 (水月ホテル・鷗外荘) 営業部チーフ・武井達介 (賛助会員) 会田涉[加治木歴史研究家]

〔編集後記〕

◇我らの母校は明治30年4月に鹿兒島県尋常中学校第2分校として開校し、約3万名の卒業生を輩出し、本業に目を向け、120周年を迎える年、終戦の日までの前年の旧制中学校の学舎が昭和20年4月、火災に遭い、焼け落ちてしまった。この日、何と16人もの学生が殉死された。この悲劇を体験、歴史をたどるべき記念冊子「黒川町の朝ぼらけ」がこの度、今吉孝夫さん、堀中清美さん、昭和26年卒を中心とした20期生のご尽力で刊行されました。是非とも購入の上、お読み頂いて戦争を知らない時代の人達に平和の有り難さをお伝えたいだけにと切に願っています。◇今特集で2ページに掲載しました関東派遣事業2016イベントの追加高生引率のご活躍いただいた現役大学生は左記4名の方です。改めまして深く感謝申し上げます。池田恵さん(67期) 那波花梨さん(68期) 西瀬夏美さん(67期) 山元幹子さん(67期) 今号は左記の方が編集作業に携わりました。相羽孝師 藤崎マリ子 重村博文 西迫宏文 久保裕 前原澄雄(昭和43年卒) 編集責任者